

教授会議事要録

1. 日 時 平成21年12月17日（木）15:00～15:53
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 福田所長ほか27名
4. 欠席者 7名

5. 議 事

○ 議事要録の確認

平成21年11月12日（木）開催の教授会議事要録（案）を承認した。

○ 審議事項

（1）抗感染症薬開発寄附研究部門の設置（継続）について

議長から、資料2により、杏林製薬株式会社他7社から寄附申込み予定のある寄附研究部門の概要について説明があり、審議の結果、当該寄附研究部門を設置（継続）する方向で進めることが承認された。

（2）加齢医学研究所規程の一部改正について

議長から、現在の5研究部門制を平成22年4月1日から、3研究部門制に再編することに伴い、加齢医学研究所規程の一部を、資料3のとおり改正したいとの提案があり、これを承認した。

（3）加齢医学研究所共通機器管理室利用細則の一部改正について

共通機器管理室主任から、資料4により、加齢医学研究所共通機器管理室利用細則の一部改正（案）について説明があった後、議長からこの改正について諮り、これを承認した。

（4）平成21年度非常勤講師の委嘱について

議長から、資料5により、非常勤講師の委嘱について諮り、これを承認した。

なお、本務先名に誤りがあったので、特定非営利活動法人映像評価機構理事長に訂正することとした。

（5）平成21年度研究奨励賞受賞者の選考について

研究推進委員会委員長から、11月11日開催の研究推進委員会において、平成21年度研究奨励賞に推薦のあった候補者2名について審査した結果、2名を適任と認めた旨の報告があった。

次いで、議長から、研究推進委員会の審査に基づき平成21年度研究奨励賞受賞者の選考について諮り、この2名を受賞者に決定した。

（6）その他

なし

○ 報告事項

（1）平成22年度加齢研共同利用・共同研究の公募について

共同利用・共同研究委員会委員長から、資料6のとおり、平成22年度加齢研共同利用・共同研究の公募を開始したとの報告があった。

なお、構成員から次の質問があり、調査し回答することとした。

- ① 今後共同利用・共同研究の実績について評価を受けることとなるが、なにが評価の対象となるか、事前に情報を提供願いたい。
- ② 学内の研究者、海外の研究者及び大学院生が応募する場合の扱いをどうするのか。

(2) 各種委員会報告

- ① 議長から、資料7-1、7-2により、部局長連絡会議・懇談会（11月17日（火）及び12月17日（木）開催）の主な議事内容について報告があった。また、運営会議（12月10日（木）開催）の概要について報告があった。
- ② 評議員から、教育研究評議会（11月17日（火）及び11月26日（木）開催）の主な議事内容について報告があった。
- ③ 環境・安全管理担当責任者から、11月18日（水）に実施した防災訓練（消防訓練）の実施結果について報告があり、防災訓練と消防訓練を同時に実施したため、有効な消防訓練が出来なかったため、次年度は訓練方法を検討することとしたとの報告があった。
- ④ 構成員から、生命科学研究科では、新研究棟の開所式典を1月15日（金）に開催する予定であるとの報告があった。
- ⑤ 遺伝子実験センター長から、11月20日（金）に信州大学で全国遺伝子実験施設連絡協議会が開催され、文部科学省担当者から、今後遺伝子組換え実験動物が管理区域外に逃亡した場合、文部科学省に報告することが義務付けられることになり、詳細は後日通知するとの説明があったとの報告があった。
- ⑥ 構成員から、12月8日（火）に開催された附属図書館商議会で、Elsevier journal について、書店から購入する冊子体とオンラインジャーナルと対で購入する冊子体数に数え間違いがあり、1,920万円の予算不足が生じたため、加齢研は約55万円の追加負担を求められたとの報告があった。
ついで、事務長から、このことについては図書館事務部長からも説明があったが、加齢研ではこの額を含めても当初計上していた予算の範囲内であるとの報告があった。

(3) 専任教授会報告

議長から、専任教授会（12月17日（木）開催）について、次の事項に関する報告があった。

- ① 抗感染症薬開発寄附研究部門の設置（継続）について
- ② 第1期中期目標期間の評価結果確定に係る現状分析について
- ③ 平成21年度年度計画等に係る部局での実施状況について
- ④ 研究分野名の取り扱いについて

(4) 職員の兼業について

議長から、資料8により、職員の兼業について報告があった。

(5) 大学間学術交流協定の廃止について

議長から、資料9のとおり、大学間学術交流協定の廃止に関する照会があったので、支障がある場合は、12月28日(月)まで庶務係に連絡願いたいとの発言があった。

(6) その他

① 議長から、前回教授会で承認を得た、国立大学法人東北大学と仙台市教育委員会との連携協力に関する協定書は、加齢医学研究所長と仙台市教育長との間で締結することになったとの報告があった。

② 構成員から、資料10により、10月10日(土)、11日(日)に開催した、片平まつり2009の実施概要について報告があった。

なお、ポスターボードを保管できる場所があれば、購入しておいた方がよいとの発言があった。

また、議長から、12月15日(火)開催の研究所長会議で、加齢研医師4名を救護班担当医師として片平地区に派遣することが困難な状況になっており、次回実施時は救護班の体制について、再検討願いたい旨要望したとの報告があった。

③ 構成員から、本日ゲノムリサーチセンターが、雨宮地区から加齢研への移転を完了したとの報告があった。

④ 情報ネットワーク室主任から、年度内に加齢研サーバーを更新する予定であり、研究室ではメールサーバーの設定変更が必要となるので、詳細については後日通知するとの報告があった。

また、今後研究室でサーバー等を更新する予定がある場合は、あらかじめ情報ネットワーク室に相談願いたいとの発言があった。

⑤ 議長から、次回教授会は1月14日(木)の午後3時から大会議室で開催するとの報告があった。

以上